

研究課題名：人と人との繋がりが拓く革新的合意形成理論

～ 次世代型市場における利己的行動の誘因分析 ～



<研究概要>

本研究は、談合や口コミなど、人と人との繋がりに着目し、人々の合意形成のための基本理論を発展させます。特に、マーケットデザインと呼ばれる理論を拡張し、公平・公正で望ましい合意形成のための統一的理論を整備します。また、市民参加型投票やドローン協調運行など喫緊の事例のため、被験者実験によって数理モデルと人々の行動との乖離を明らかにし、提案理論の社会実装に向けての指針を示します。

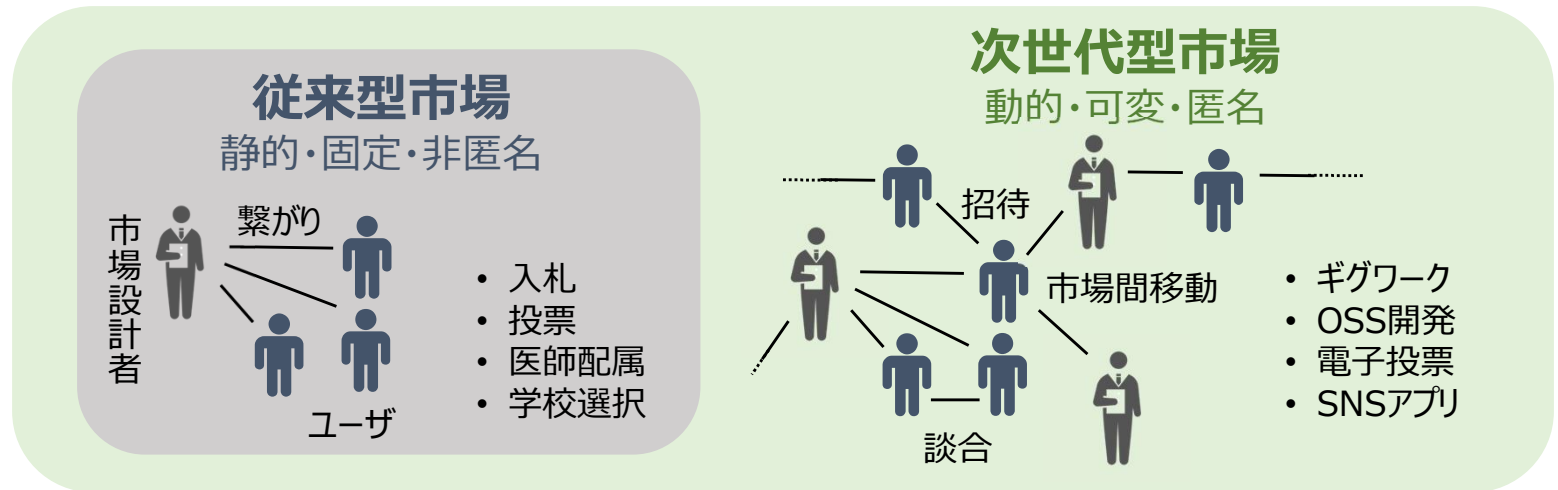
とうどう たいき

氏名：東藤 大樹

所属機関：九州大学

役職：准教授

(情報学基礎/理論経済学)



<略歴>

2012年 九州大学 大学院システム情報科学府 博士後期課程修了、博士（情報科学）。2013年 同 助教、2021年より現職。2010年～2013年 学振特別研究員、2012年 米国・デューク大学ポスドク、2016年～2017年 中国・香港城市大学客員研究員、およびフランス・LAMSADE招聘教授。2017年～2020年 理研AIPセンター客員研究員。